

あいち健康の森薬草園指定管理者運営モニタリング結果（平成30年度）

1 施設の概要

施設名	あいち健康の森薬草園
所在地	大府市森岡町9丁目319番地
設置根拠	あいち健康の森薬草園条例（平成27年 供用開始）
設置目的	薬草の活用を通じて県民の心と体の健康づくりに対する意識の向上を図る。
施設概要	敷地面積 総面積 28,250m ² （園地 12,000m ² 、その他 16,250m ² ）
	主な建物 研修展示施設・ボランティア交流センター（RC造 1階）280 m ²
	駐車場 140台
	開館時間 午前9時30分から午後4時30分まで
	休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は翌開園日）、年末年始（12月29日～1月3日）

2 指定管理概要

指定管理者名	愛知県薬剤師会・日誠グループ（株式会社日誠、一般社団法人 愛知県薬剤師会）
指定期間	平成27年4月1日から令和2年3月31日
指定管理者選定時の主な提案内容とその実施状況	薬用植物観察会の年4回の開催、春・秋に薬草栽培教室の実施及びハーブ栽培教室の年4回の開催（薬草栽培教室として平成27年度から月1回4月から12月まで実施）、自然散策・薬草教養講座の年2回の開催（薬草ものしり講座として平成27年度から月1回4月から11月まで実施）、ハーブティー講座の年6回の開催（平成27年度からハーブを使用する講座として年6回以上開催）、薬酒講座の年2回開催（年1回開催）、常設展示の年3回程度入替（平成27年度から年1回程度実施）

3 利用状況

（単位：人、件）

区分	30年度		29年度		増減 ①－②
	計画値	実績値①	計画値	実績値②	
施設利用	27,720	31,601	26,530	36,576	-4,975
うち ボランティア交流センター	—	1,041	—	1,418	-377
うち 研修展示室	—	1,449	—	196	1,253
計	27,720	31,601	26,530	36,576	-4,975

※計画値とは、指定管理者を選定する際に提出された計画値を指します。

4 収支状況

（単位：千円）

区分	30年度		29年度		増減 ①－②
	計画値	実績値①	計画値	実績値②	
収入計	14,193	14,394	14,193	14,343	51
利用料金収入	—	—	—	—	—
指定管理料	14,193	14,193	14,193	14,193	0
その他	0	201	0	150	51
支出	14,193	16,789	14,193	16,475	314
収支差	0	-2,395	0	-2,132	-263

5 モニタリング結果

(1) 総合評価

評価	評価内容
A	施設の管理に関しては、来園者に快適に過ごしてもらえるように、利用者の安全に配慮した取組が継続できている。また、サービスの維持・向上に関しては、薬草の植栽や展示の工夫などにより利用促進に取り組んでいることが伺える。特に、薬草園の広報においては、認知度向上に向けた大規模イベントの開催に加え、地元市町の広報誌への掲載やブログによる情報発信、地域の催しに参加して薬草茶を配布するなど、積極的な活動は評価できる。なお、運営の安定性を高めるための支出の削減については、緑地維持管理のための効率的作業の取組を一層進め、収支状況の改善に努めていただきたい。

(2) 区分ごとの評価

区分名称	評価	評価内容
基本項目	A	法令等に基づき適切に管理されており、利用者の利用の確保が図られている。
施設の適正な管理	A	施設の快適な利用及び適正な管理運営に努めている。
サービスの維持・向上	A	アンケートの実施や苦情対応など、施設利用者の意見を真摯に受け止め、より良い薬草園にしていくという意識が感じられる。また、地元と連携したイベントの開催や講座の内容を工夫するなど、利用者へ提供するサービスの向上に努めている。
運営等の安定性	A	薬草園運営に必要な人材を確保し、計画的に事業を進めることができている。 なお、現状の薬用植物の植栽状況を維持、充実させることを考えると、除草、剪定等の緑地維持管理費を大幅に縮減することは困難であることは理解できるが、効率的作業の取組を一層進め、収支状況の改善に努めていただきたい。

【評価の基準】

S 県の求める水準を大幅に上回る A+ 県の求める水準を上回る A 県の求める水準（業務仕様書の水準）
B 県の求める水準に対して一部不十分 C 県の求める水準に対して不十分

(3) 今後の対応等

薬草園のイベント開催時に県ホームページや広報等への掲載を行うなど、引き続き薬草園のPRを支援していく。また、開園以来、着実に充実してきた薬用植物の植栽水準を維持しつつ、より来園者に楽しんでいただける施設となるよう、薬業関連企業やボランティアとも連携しながら、効率的な管理運営及び賑わいの創出のための取組を進めていきたい。

6 利用者からの反応

講座、イベント参加者から「とてもよかった」「また参加したい」「いろいろ勉強になりました」等の意見が寄せられ、概ね好評であった。夏休み中の企画を希望する意見もあった。

苦情に関しては、クズがフェンスを越えて近隣住宅の敷地まで入っているので除去してほしい、また、除草した草が歩道にはみ出ているので片付けてほしいなどの意見があった。いずれも苦情を受けた日のうちに除去を完了させており、対応は適切であった。

7 その他

・主な管理運営上の課題

開園後、薬草の生育が芳しくなく、一部の植栽が枯れたり、成長が遅いといった状況が薬草体験農場及び圃場で認められたため、平成 27 年 10 月から協力企業の支援を受けて『漢方堆肥』による土壌改良を実施している。これまでに予定どおり土壌改良は進んでおり、令和元年度末までに完了する。現在は、改良前に比べて土が肥え、植物の生育が良くなり、土壌改良の効果が現れている。

○ 問い合わせ先

保健医療局生活衛生部医薬安全課監視グループ
電話：052-954-6344（ダイヤルイン）
ファクシミリ：052-953-7149
メールアドレス：iyaku@pref.aichi.lg.jp